



1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
常磐大	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
高経大	1	0	0	0	3	0	0	0	X	4

2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
高経大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
常磐大	0	0	0	0	1	0	2	0	X	3

3戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
常磐大	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
高経大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

写真 1部昇格を決め、胴上げされる主将・櫻村昌樹(4年)



関甲新学生野球・春季リーグ2部東地区は、2大学が棄権したため、常磐大学が4勝0敗で地区1位となり、2部リーグ総合優勝決定戦に進出。西地区代表の高崎経済大学に2勝1敗で総合優勝し、来季からの1部昇格を決めた。

【1戦目 7/17】先発は高橋 国杜(4年)。1回裏、常磐大学はいきなりピンチを作り、3番に1死3塁のピンチの場面でバントを受け、高崎経済大学が先制する。続く2回表、2死2塁の場面で8番清水大和(4年)がセンター前に打ち、常磐大学が同点に追いつく。さらに3回表、2、3塁のチャンスを作ると4番館拓真(4年)がサードゴロを打ち、サードがファブルし1点を追加、さらに5番所宜和(1年)がセンター前へ打ち3点目取る。しかし5回裏、エラーなどで2、3塁になると、相手の2番バッターにセンター前にヒットを打たれ、同点に追いつかれる。さらにこの回、追加点を取られ、敗北。3-4。

【2戦目 7/18】先発は岩附 詳陽(3年)。5回裏、1死3塁のチャンスを作ると8番 清水がショートゴロを打ちその間に3塁ランナーが生還し、常磐大が先制する。6回表、2死3塁のピンチを作られ、相手チームの4番にレフトに強い打球を

打たれ、鳴原航生(4年)が落球し、同点に追いつかれる。7回表、2死1、3塁のチャンスで2番櫻村昌樹(4年)が初球を左中間に打ち、2点追加し常磐大学が制した。3-1。【3戦目 7/19】先発は高橋。2回表、2死1、2塁のチャンスを作り、8番 照沼直樹(3年)がツーベースヒットで常磐大学が先制する。7回表、1死1、2塁追加点のチャンスで2番櫻村がヒットを打ち、追加点を取る。しかし7回裏、2死2塁のピンチの場面でヒットを打たれて1点を返される。9回表、1死満塁のチャンスを作り、3番 鳴原がセンターの犠牲フライで3点目を取り、常磐大学が制した。3-1。

(文・木村俊輔)



応援ありがとうございました。

常磐大学体育会 硬式野球部